

平成30年度 第1回西蒲警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年6月28日（木）午後2時00分から午後4時00分まで		
開催場所	西蒲警察署 会議室		
出席者	委員 (定数8人)	丸山会長、高井副会長、石添委員、高橋委員 中原委員、長谷川委員、廣川委員、山上委員、 (会長、副会長以下50音順)	計8人
	警察	吉田署長、渋谷副署長、青木警務課長、 刃物会計課長、清野生活安全課長、伊藤地域課長、 刑事係長、佐藤交通課長、警備課長	計9人

管内の治安情勢

署長から、平成30年5月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の推進

(1) 広報啓発活動の継続実施

- イベント会場における広報啓発活動や管内のJR駅、スーパーマーケット等において広報啓発活動を実施した。
- 特殊詐欺被害防止の啓発のぼり旗を作製し掲出した。また、啓発うちわを作製し配布した。

(2) 関係機関・団体等と連携した被害防止対策の推進

- 年金支給日に各地域の金融機関において被害防止広報を実施した。
- 地区のコミュニティ協議会やセーフティ・スタッフ委嘱式、防犯組合総会などにおいて被害防止講話を実施した。

(3) 捜査の過程で押収した名簿を活用した被害予防対策の推進

- 本部から、当署管内に住所のある方のリスト（551件の名簿）の送付があったことから、同名簿登載者方を訪問して特殊詐欺被害に遭わないよう注意喚起を継続して実施している。

2 通学路の安全確保と悪質交通違反取締りの強化

(1) 通学路における安全点検と交通安全教育の推進

- 西蒲区役所、西蒲区教育支援センター等と協働して、通学路の安全点検を実施し、横断歩道等の道路標示の補修が必要である箇所の把握と今後の対応について協議した。
- 西蒲区役所、弥彦村役場と協働のうえ、各小中学校において、新入学児童・生徒に対する道路の安全な渡り方や自転車の安全な乗り方について交通安全教室を開催し、安全ルールの周知徹底を呼び掛けた。

(2) 飲酒運転をはじめとする悪質交通違反取締りの強化

- 交通事故の発生実態を分析の上、夜間における検問の実施や事故原因として多い交差点関連違反取締りを強化した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 犯罪抑止活動の強化

- 幅広い年代層に向けた特殊詐欺撲滅対策を展開していくとともに、地域の情勢に即した犯罪の未然防止に努める。

2 高齢者を中心とした交通事故防止対策の推進

(1) 自治体等と協働し、老人クラブの会合や各種イベント等を通じた交通安全広報等の推進

これまで実施してきた交通安全教育等については、一定の効果が認められていることから、今後も継続して実施する必要があるとあり、会合等に参加しない高齢者に対しても地域の役員等を通じて、交通事故防止広報を推進する。

(2) 反射材着用の推進

交通事故の被害に遭った高齢者のうち、反射材を付けていた者は皆無に近いことから、夜間の事故防止に効果のある反射材の活用を継続して推進していく。

(3) 交通死亡事故を防止するための交通指導取締りの強化

万が一の命綱として、シートベルトの確実な着用を徹底するため、非着用の危険性を伝えるとともに、取締りを強化する。

交通事故の発生実態を分析の上、交通事故に直結する悪質な交通違反について取締りを強化する。

諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

1 犯罪者を取り締まるのが警察の仕事だと思うが、迷惑行為を繰り返し行っている人が居て住民が不安がっている場合は警察で何とかならないか。

迷惑行為としては、他人の野菜や鉢植えを盗ったり、自転車を持ち出して乗ってみたり、或いは人の土地にゴミを勝手に捨ててみたりと些細なことではあるが、今後、人を傷付けたり、火を点けたりしないとも限らず、とても不安である。

- 犯罪として立件できる行為については適正に捜査します。また、行政と連携して対応すべき場合は、然るべき部署・機関などからのアドバイスを受けるなど、地域住民の皆様の不安を払拭すべく適切な措置を検討します。

また、その動向に注意し、関係機関と連携して対応すべきと考えています。
いずれにしましても、危険を感じるなどの行為があった場合は躊躇なく110番通報していただきたいと思います。

2 「こども110番の家」について、見直しをされたと聞いたが如何か。

また、「こども110番の家」の看板が古くなった場合は、替えてくれるのか伺いたい。

- 「こども110番の家」については、平成9年7月から、子供を犯罪等から守るために始められた施策であり、警察が窓口となっているものです。

地域情勢の変化や請け負っていたいた商店や家庭などの変遷により、平成29年4月に学校、自治会、防犯団体等と警察が協議し見直しがなされ、同年7月から新たな「110番の家」の設置箇所について学校に提供しています。

看板が劣化している場合には、お申し出いただき、取り替えさせていただきます。

3 不審者情報などがあった場合は、リアルタイムに地域コミュニティへの連絡を頂きたいが如何か。

- 学校や地域の皆さんからの情報提供については、提供元の承諾や事実確認が必要であり、すぐに情報提供することは難しいですが、被害が発生するおそれがある場合などは、速やかな情報提供に努めています。

また、警察が配信している「ひかるくん・ひかるちゃんメール」にご加入いただき、確認いただければと思います。

4 特殊詐欺の被害が多くなっているとの話しであるが、電話などが来たら騙されている振りをして、犯人をおびき出して捕まえてはどうか。

犯人を捕まえれば、被害もなくなっていくと思うが如何か。

- 警察では、特殊詐欺の電話などを受けた方のご協力を得て、「だまされた振り作戦」を実施し、犯人検挙に努めています。しかしながら、犯人側も学習し、警戒していることから、同じ手口ではやってこなくなり、また新しい手口で犯行に及んでくるなど“イタチごっこ”の状態が続いているところです。警察では、これらの状況に対応しつつ、犯人検挙に努めてまいります。

5 特殊詐欺と思われるハガキが届いたことがある。差出人が「法務省」などと実在の省庁名が書かれていたが、内容がおかしかったので詐欺だと分かった。郵便局に勤めている知人に聞いたところ、赤ペンで「返送」と書いてポストに入れれば良いと聞き、そのように措置したが、また届いた場合はどのように対応すれば良い伺いたい。

- 心当たりのないハガキが届いた場合は、決して電話などすることなく無視して捨ててください。また、電話が来た場合は、住所や名前などを伝えることはせず、きっぱりと断って電話を切ってください。

万が一電話番号などを教えてしまった場合は、電話番号を変えるなどの措置を執ってください。

いずれにしても自分で判断せず、警察や家族に相談してください。

6 お年寄りや、言葉巧みに言われると慌ててしまい、頭が真っ白になってしまう傾向があると思う。繰り返し特殊詐欺の手口や被害防止の広報などをしていただければ良いと思う。

- 警察では、地域の会合や老人クラブなどでの講話をはじめ、大型商店、駅、金融機関での広報を継続的に実施し、被害に遭わないようと呼び掛けています。今後も引き続き、被害防止広報と犯人検挙を両輪として実施してまいりたいと考えています。

7 これだけ、テレビ・ラジオ・新聞などで広報されているのに、騙されている人が後を絶たないのは、被害に遭いそうな人達である「聞いて欲しい人」が聞いておらず、「分かって欲しい人」が分かっていないというのが現実だからだと思う。

- 警察では、特殊詐欺被害防止のための広報・啓発活動のほか、「水際作戦」として金融機関の協力を得て、窓口において高額現金を下ろそうとしている人への声掛け、注意喚起を実施していただいています。また、高齢者の家族への指導などにも力を入れて実施しています。

8 私の住んでいる地区では、有線放送での特殊詐欺被害防止広報がなされており、高齢者も良く聞いているので有効だと思っている。

- 地域の皆様のご協力を得て、あらゆる機会、媒体を活用させていただき、被害防止広報に努めています。

9 特殊詐欺の犯人が掛けてくる電話番号や、ハガキに書いてある電話番号から辿っていけば、犯人につながって捕まえられるのではないか。

- 詳しい捜査方法や手法などについては申し上げられませんが、電話番号だけでは犯人に辿り着ける可能性は極めて少ないのが現実です。また、手口もコンビニでの電子マネー利用、アマゾンギフト利用、或いはハガキへの保護シール貼付など益々巧妙化・潜在化していることから、中々追いつけない状態が続いていますが、警察としてもあらゆる手段を講じて、被疑者検挙に努めています。

10 タブレットを見ながら車を運転している女性を同じ時間帯、同じ路線で度々見掛けるが、違反ではないか。

- タブレットを把持している状態であれば違反となります。ご教示いただいた時間帯、路線での交通指導取締りを実施してまいりたいと考えています。

答申

西蒲警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり各種施策を積極的に推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等(○は署長等の説明)

1 運転免許証を自主返納した人へ「タクシーチケット」が配布されているが、文字が小さくて高齢者には見にくいので、大きくして貰えないでしょうか。

○ 運転免許証を自主返納された高齢者への「タクシーチケット」の配布については、新潟市が実施しているものですので、そのようなご意見があったとすることを新潟市に伝えます。

なお、タクシーチケットの配布については、近々打ち切りされるとの情報もありますのでご確認ください。

2 子供の下校時間帯の見守り活動を今後も引き続きお願いしたい。

○ 交番、駐在所の警察官、パトカーなどを出動させて見守り活動を続けてまいります。また、地域の皆様と協働して安全確保を図ってまいりたいと考えております。

3 交番の警察官から、登校する子供達などに毎朝声を掛けてもらっている。とても清々しい気持ちになる。今後も続けていただきたい。

4 駐在所の警察官からは、毎日のように登下校時の見守りや巡回して貰い、とても安心感が持てる。今後も是非続けてほしい。

○ 協議会委員の皆様からの激励の声として署員へ伝えます。

今後も地域の安心安全の実現に向けた活動を続けてまいります。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

交番・駐在所広報紙コンクールの審査

西蒲警察署の各交番・駐在所の警察官が作成した「広報紙」のコンクールが行われ、署協議会委員も審査に加わった。

西蒲警察署協議会の状況



